

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	◎現状 地域の行事に出かけることはない。友人、家族の訪問は頻回にある。 ◎問題点 入居者のADLの低下により、一人ひとりに介助が必要となっている。地域に出ることを拒む。全く知らない人の所を好む。◎課題 入居者が地域を重視している所が強く、他者との交流に消極的である。地域性もあり加わりにくい。ADL 低下、体力的負担大きい。幼小中学生の訪問もデイサービスのみでグループホームにはない。	地域行事に参加できる。地域の住民が気軽に立ち寄れる施設	地域の運動会の見学。周辺の散歩で挨拶をすることで住民と交流のきっかけとする。ボランティアの支援を受け多くに人と交流できる。	12ヶ月
2	4	◎現状 開催できていない。 ◎問題点 開催日程の調整が出来ていない。 ◎課題 開催日程の調整。	2ヶ月に1回の開催	メンバーに家族を多く入れることで家族の出席をしやすくする。 開催日程、曜日を決めておく。	12ヶ月
3	26	◎現状 入居者との普段の会話の中から思いを聞き出し、家族からも同様に情報収集している。情報を基に計画を作成、月1回ミーティング開催時に話し合う。 ◎問題点 家族の希望と本人の思いに食い違いがある。 ◎課題 職員全員が介護計画の必要性を理解しているか。	入居者を理解し、職員それぞれが介護計画の作成に参加できるようになる。	月1回の職員ミーティングを活用して、入居者理解に努め、よりよい個別ケアの充実を図る。	12ヶ月
4	35	◎現状 デイサービスと合同での防災訓練の実施 ◎問題点 合同のため場所、時間的なこともあり職員全員の参加が出来ていない。 ◎課題 入居者が訓練の理解が出来ないため混乱を引き起こす。入居者の状態、ADLを踏まえた施設に適した訓練が必要	入居者、施設に適した防災訓練が実施。	施設にて、火災、風水害を想定した訓練を消防署の協力の下実施する。	12ヶ月
5					12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。